

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
専門学校岡山情報ビジネス学院		昭和61年7月26日	学院長 三村 光	〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1番4号 ターミナルスクエア内 (電話) 086-224-2336			
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人 三友学園		昭和61年7月26日	理事長 池田 基熙	〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1番4号 ターミナルスクエア内 (電話) 086-224-2336			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・ブライダル学科	平成20(2008)年度	-	平成28(2016)年度		
学科の目的	サービス業の基本精神である「ホスピタリティーマインド」(おもてなしの心)を第一に考え、ホテル・ブライダルの業務に必要な専門知識を修得する。また豊富な実習と研修を通して、思いを形にする力、表現力を身につけ即戦力として通用する人材を育成する。						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	【取得可能な資格】ブライダルコーディネーター技能検定 WB認定スリスターメンバー ホテルビジネス実務技能検定試験 マナー・プロトコル検定 サービス接客検定 他 【中退率】1% 退学者1名(令和5年度 入学者含む)期初在籍者数69名 卒業生含む期末在籍者数68名)						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,707 単位時間 単位	414 単位時間 単位	952 単位時間 単位	671 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)				
80人	75人	0人	0%				
就職等の状況	■卒業者数(C)		30	人			
	■就職希望者数(D)		28	人			
	■就職者数(E)		28	人			
	■地元就職者数(F)		10	人			
	■就職率(E/D)		100	%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		36	%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		93	%			
	■進学者数		0	人			
	■その他						
	アルバイト フリーター						
(令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報)							
■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 【業界】ホテル、ブライダル、ジュエリー 【就職先】㈱パークフロントホテル、株ポートピアホテル、㈱エスクリ、㈱アルカンシエル、㈱翠宝商事、㈱ニューアートシーマ 他							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 一般社団法人専門職高等教育 育質保証機構 受審年月: 平成31年2月 評価結果を掲載したホームページURL: https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf						
当該学科のホームページURL	https://www.oic-ok.ac.jp/						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)						
	総授業時数		2,037 単位時間				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		280 単位時間					
うち企業等と連携した演習の授業時数		255 単位時間					
うち必修授業時数		1,707 単位時間					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		160 単位時間					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		255 単位時間					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		140 単位時間					
(B: 単位数による算定)		総授業時数				単位	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位					
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位					
うち必修授業時数		単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		1人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		0人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		2人				
	計		3人				
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		2人					

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

サービス業の基本精神である「ホスピタリティーマインド」(おもてなしの心)を第一に考え、お客様や自分の想いを形にする力、表現力を身につけ即戦力として通用する人材を育成することを目標とする。また、一生に一度の結婚式、旅行の際のホテルの宿泊等お客様の特別な時間に携わるという高い意識を持った人材育成の為に、ホテル・結婚式場等を中心に教育内容に関するヒアリングを行い、カリキュラム・授業計画等に反映させる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

ホテル・ブライダル業界における人材育成のために、ホテル・ブライダル業界関係者および岡山情報ビジネス学院関係者で構成された「教育課程編成委員会」を岡山情報ビジネス学院内に設置する。年間2回以上開催される委員会にて教育課程の編成に向けた意見・助言等を受けカリキュラム等の開設・改善・工夫等を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
羽原 俊秀	公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会 常任理事	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
石井 健一	株式会社ホテルグランヴィア岡山 総務部 次長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
福圓 涼子	有限会社ル・クル ジャポニ ル・メルシエ 統括マネージャー	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
豊田 東	岡山国際ホテル 総支配人	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
岩崎 千鶴	専門学校 岡山情報ビジネス学院 常務理事	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	—
大森 晴行	専門学校 岡山情報ビジネス学院 教務課長補佐(ビジネス系学科群)	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年8月30日 16:00～18:00

第2回 令和6年1月15日 16:00～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

サービス業界へ進むものとして、接客スキルをブラッシュアップしていく為の研修を取り入れていくことを検討。授業において基本的な言葉遣いや所作を学んでいるが、実践として電話応対や接客の会話・所作のトレーニングを現場スタッフよりプロの目線をもって直接指導を実施予定。また2年間の集大成となる「表現結婚式」を校内にとらわれることなく、ホテルや専門式場での実践を通し業界に入る前に、プロとしての考え方や意識の向上を図りたい。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

地域内業界の中心となる企業において、県内外を問わず学生の受入れにあたり、ホテル・ブライダル業界スタッフとして様々な業務体験が出来るような企業を選定している。社会常識を身に付け、即戦力のスタッフとして何が必要で何を身に付けるべきなのかを体験し理解できる実習になるよう理解をいただいている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 授業科目の担当教員が実習内容の詳細について、企業側と受入確認および調整を行い、学生の学修成果指標について定める。実習期間中は、担当教員が企業を訪問し、学生の状況を確認するとともに実習担当者と情報交換を行う。実習終了時には、担当者が学生の学修成果の評価と実習レポートの評価を行い、総合評価を担当が行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ウェディングスペシャリスト実務Ⅰ	欧米のブライダル事情、専門知識を習得する。また自分の生き方を考えながら仕事スタイルを選べる様に、フリーランスビジネスを展開させる上で組織のまとめ方、人を動かす方法、メンタルパワーの強化方法を習得し、ウェディングスビューティフル検定を取得する。	ウェディングスビューティフル協会
ウェディングスペシャリスト実務Ⅱ	欧米のブライダル事情、専門知識を習得する。また自分の生き方を考えながら仕事スタイルを選べる様に、フリーランスビジネスを展開させる上で組織のまとめ方、人を動かす方法、メンタルパワーの強化方法を習得し、ウェディングスビューティフル検定を取得する。	ウェディングスビューティフル協会
ホテル・ブライダル演習Ⅰ	業界理解を目的とし、自身の業界内における将来設計ができる力を身につける。	ANAクラウンプラザホテル岡山 ラヴィール岡山 ブライダル三松 他
ホテル・ブライダル演習Ⅱ	業界理解を目的とし、自身の業界内における将来設計ができる力を身につける。	ウェディングスビューティフル協会 他
現場実習	業界内の企業で業務理解を深め、スタッフとしての動きを習得する。	岡山国際ホテル ルメルシェ 他

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
 教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と他関係者に対する研修内容の共有を行う。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ブライダル講師のための勉強会	連携企業等:	ウェディングスビューティフル協会
期間:	令和5年8月22日(火) 15:00~16:30	対象:	土師 あやか
内容:	本校のカリキュラム軸である認定試験の本部主催研修。「欧米の最新ウェディングの情報」や「東京都内で今旬のウェディングスタイルの情報」など、今すぐに授業に役立つ内容。今現在の最新スタイルを聞き、授業に反映させていく。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	「志セミナー」赤磐市地域おこし協力隊 戸田洋美さん講演	連携企業等:	赤磐市地域おこし協力隊
期間:	R5年6月14日 10:00-12:00	対象:	教務課職員
内容:	第一線で活躍されている方の姿勢や熱い想いに触れることで、自らの人生を切り拓く志を学ぶ。目的のために何ができるか、周りに協力してもらうために何を伝えるか。そして、諦めない！というマイルールを決して曲げないという講演。		

研修名:	LGBTQ研修	連携企業等:	一般社団法人にじーず岡山
期間:	R6年2月22日 13:00-15:30	対象:	全職員
内容:	研修をきっかけに教職員一同、性的マイノリティ(LGBTQ)に関する知識を身につけ、正しい理解を得る。当事者の学生から相談を受けた際の適切な対応を可能とすることを旨とする。		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ブライダル講師のための勉強会	連携企業等:	ウェディングスビューティフル協会
期間:	令和6年8月頃予定	対象:	土師あやか、吉川美玖
内容:	本校のカリキュラム軸である認定試験の本部主催研修。「欧米の最新ウェディングの情報」や「東京都内で今旬のウェディングスタイルの情報」など、今すぐに授業に役立つ内容。今現在の最新スタイルを聞き、授業に反映させていく。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「志セミナー」株式会社ミアーズ 代表取締役 前村美樹さん講演

連携企業等: 株式会社ミアーズ

期間: R6年6月13日 9:30-10:30

対象: 教務課職員

内容: 業界をリードする経営者を講師に迎え、自身の経験を踏まえながら、「変化する時代に生き抜く力を身に付ける方法」「自身の力でキャリアをデザインする生き方」について講演いただく。自分自身の人生や社会課題の解決について考える機会とし、一人ひとりのやる気と行動の原点につなげていく。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の順守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

担任制、卒業生の社内での評価などは、良い評価をいただいたので、今後も退学防止などの課題に取り組んでいく。特に、教師の力量による差が、退学、就職などすべてに影響するため、その差を解消できるように教員研修を継続する。また、非常勤教師の採用も行い、学生サービスの充実を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
守井 照久	税理士法人創明コンサルティング・ブレイン 代表社員	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
早崎 律貴	スマートスケープ株式会社 VX事業部 開発部 部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生 企業等 委員
石崎 公生	株式会社アドボックスフォトグラフィ 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	PTA
山本 涉	医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル 運営企画室 室長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
豊田 東	岡山国際ホテル 総支配人	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
真鍋 洋志	菅公学生服株式会社 取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
山下 秀男	株式会社イケル 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
北牧 涼輔	NAYUG合同会社 代表	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
浦谷 友章	自衛隊香川地方協力本部 東讃地区隊長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
畑 嘉昭	株式会社トスコ 専務取締役	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等 委員
芳原 慶真	コーセーエンジニアリング株式会社 総務部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
平野 彰一	社会福祉法人岡北福祉会 岡北学園 理事長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等 委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/02--new.pdf>

公表時期: 2024/10/1

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対応を行い、説明責任を果たす。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	OICの教育方針、心の推進プロジェクト、プライバシーポリシー(個人情報保護法)
(2) 各学科等の教育	目指す業界・職種、目指す資格と資格取得実績、就職実績、カリキュラム
(3) 教職員	教職員数、教員の組織、教員の専門性、教職員の研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取り組み支援、企業等との連携による取組・キャリア教育への取組
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介、学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況(スクールカウンセラー)
(7) 学生納付金・修学支援	学納金、独自の奨学金制度・学費支援制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	学校評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://oic-ok.ac.jp/>

公表時期: 2024/6/1

授業科目等の概要

商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		ビジネス実務Ⅰ	就職活動のプロセスの理解を深め、具体的な行動を起こせるよう自主性を身につける。	1前期	50	3	△	○		○	○			
2	○		ビジネス実務Ⅱ	基本的なビジネスマナーについて社会人常識力検定を通じて習得する。	1後期	77	5	△	○		○	○			
3	○		ウエディングスペシャリスト実務Ⅰ	欧米のブライダル事情、専門知識を習得する。また自分の生き方を考えながら仕事スタイルを選べる様に、フリーランスビジネスを展開させる上で組織のまとめ方、人を動かす方法、メンタルパワーの強化方法を習得し、ウエディングスビューティフル検定を取得する。	1前期	35	2	○			○	○		○	
4	○		ウエディングスペシャリスト実務Ⅱ	欧米のブライダル事情、専門知識を習得する。また自分の生き方を考えながら仕事スタイルを選べる様に、フリーランスビジネスを展開させる上で組織のまとめ方、人を動かす方法、メンタルパワーの強化方法を習得し、ウエディングスビューティフル検定を取得する。	1後期	25	1	○			○	○		○	
5	○		ウエディングプランナー実務	活かした知識や研修マニュアルをもとに日本の企業において即戦力として活躍出来る人材育成を目的とし、日本のブライダル事情を認識させ専門知識を習得する。またブライダルプランナー実務検定を取得する。	1通年	36	2	○			○	○			
6	○		イベントプロデュースⅠ	どの業界でも必要となる発想力、考える力を養い、思いを形に出来る表現力の向上を図るとともに、業務の進め方として企画・運営に必要な企画書、予算書、会場見取り図、進行表など書類作成、そして組織で働くルールやマナーも同時に習得をする。	1前期	63	2	△			○	○			
7	○		イベントプロデュースⅡ	前期で習得した知識を基盤とし、同じチームとしてより完成度を高めた商品開発に取り組みプロとしての認識を高める。集大成プロデュースでは自分たちの成長を発表し、これからの人生への決意をお世話になっている方々へご披露する力を養う。	1後期	43	1	△			○	○			
8	○		ドレスコーディネーター実務	服飾の基礎知識の習得をする上で、婚礼衣装業務に関わる洋装・和装、貸衣装から美容、花に至るまでトータルビューティに関わる基礎知識を習得する。また、ドレスコーディネーター実務検定を取得する。	1通年	36	2	○			○	○			
9	○		ホテルビジネス基礎実務Ⅰ	宿泊・料飲・宴会といったサービスオペレーションなどの、ホテル業務に必要な実務知識を体系的に習得する。	1前期	56	3	○			○	○			
10	○		ホテルビジネス基礎実務Ⅱ	ホテル業務に必要な実務知識を体系的に習得し、ホテルビジネス実務技能認定試験を取得する。	1後期	52	3	○			○	○			
11	○		接客サービス実務Ⅰ	サービス業界で必要となる、お客様に満足いただける接客の提供方法を身につけ、サービス接客検定2級を取得する。	1前期	20	1	○			○	○			
12	○		接客サービス実務Ⅱ	サービス業界で必要となる、マナーやプロトコルを習得しマナー・プロトコル検定3級を取得する。	1後期	20	1	○			○	○	○		

商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
13	○			ホテル・ブライダル演習Ⅰ	業界理解を目的とし、自身の業界内における将来設計ができる力を身につける。	1前期	20	1	△	○		○		○		○
14	○			ホテル・ブライダル演習Ⅱ	業界理解を目的とし、自身の業界内における将来設計ができる力を身につける。	1後期	46	3	△	○		○		○		○
15	○			一般教養Ⅰ	文章読解・作成能力検定取得を目指すとともに、根拠に基づいた小論文などを作成するための思考力・表現力・判断力を身につける。	1通年	24	1	○			○		○		
16	○			情報リテラシーⅠ	EXCEL表計算処理技能認定試験3級を目指す知識・技能の習得する。またプロデュースや卒業研究などパソコンを使用した作品作りでの応用力を養う。	1前期	20	1	△	○		○		○		
17	○			情報リテラシーⅡ	EXCEL表計算処理技能認定試験3級を目指す知識・技能の習得、またプロデュースや卒業研究などパソコンを使用した作品作りに応用できるようになる。	1後期	20	1	△	○		○	○	○		
18	○			現場実習	業界内の企業で業務理解を深め、スタッフとしての動きを習得する。	1後期	160	4			○		○	○		○
19	○			ホテル英会話Ⅰ	日常会話ができるように、テキストに沿って会話形式の文法や語句を身につける。	1前期	15	1	△	○		○		○		
20	○			ホテル英会話Ⅱ	日常会話ができるように、テキストに沿って会話形式の文法や語句を身につける。	1後期	20	1	△	○		○		○		
21	○			サービス基礎演習	現役ホテリエ・プランナーから実際の施設でサービススキルを習得する。基礎となる料飲サービスやベッドメイク、ドレスフィッティングなど実践する。	1前期	15	1	△	○			○		○	○
22	○			セルフスタイリング	パーソナルカラー診断やメイク・服装に至るまで自分の魅力を最大限に引き出すとともに、TPOに沿った表現を習得する。	1前期	15	1	△	○		○			○	○
23	○			ビジネス実務Ⅲ	実社会で求められる挨拶や立ち居振る舞い等を実践も踏まえて習得する。	2前期	63	4	△	○		○		○		
24	○			ビジネス実務Ⅳ	社会人としてすぐに働くことを想定したマナー・考え方・一般常識を習得する。	2後期	33	2	△	○		○		○		

商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
25	○			国際文化演習	グローバルな観点で多くの国や地域に触れ、国別の文化、風習、生活特性の考察、さらに宗教や思想等に係る知識を身につける。	2前期	40	2	○	△		○		○		
26	○			ブライダルプロデュースⅠ	イベントプロデュースを基盤とし、表現方法を結婚式演出で行う。専門知識として習得した海外・日本の結婚式スタイルを実践表現する力を培う。	2前期	123	4	△		○	○		○		
27	○			ブライダルプロデュースⅡ	自分たちが大切にしてきたキーワードをテーマに個々で商品開発を行い、商品として選抜されたものを全体で結婚式演出として表現する力を身につける。	2後期	162	4	△		○	○		○		
28	○			ホテル・ブライダル演習Ⅲ	業界の現状や傾向を理解し、就職後を見据え業界で必要な知識を様々な切り口から身につける。	2前期	39	2	△	○		○		○		○
29	○			ホテル・ブライダル演習Ⅳ	業界の現状や傾向を理解し、就職後を見据え業界で必要な知識を様々な切り口から身につける。	2後期	30	2	△	○		○		○		○
30	○			ユニバーサルサービスⅠ	ダイバーシティ社会に沿った幅広い知識を習得し、実践に活かす。視覚・聴覚・肢体に不自由を感じている方の理解を深め、接客の基本を習得する。	2前期	25	1	○			○		○		
31	○			ユニバーサルサービスⅡ	ダイバーシティ社会に沿った幅広い知識を習得し、実践に活かす。高齢者・お子様・内部障害の方・LGBTの方などの理解を深め、接客の基本を習得する。	2後期	20	1		○		○		○		
32	○			ペン字	履歴書やビジネス文書等で書く文字バランスを身につける。	2前期	15	1	△	○		○				○
33	○			ブライダル・コーディネーター	ブライダル学習の総まとめとして、BIA協会主催のブライダルコーディネーター技能検定(国家検定)を目指す知識の習得する。	2後期	38	2	△	○		○		○		
34	○			ブライダルビューティー演習	結婚式を行う新郎・新婦に必要な着付け・ヘア技術を身につける。	2前期	28	1		○		○		○		
35	○			フラワーアレンジメント演習	結婚式で必要な会場装花、ブーケ・ブートニア、ヘッドフラワーを作成できるようになる。	2前期	26	1		○		○		○		
36	○			ホテル英会話Ⅲ	ホテル業務で使用される日常会話、専門用語を会話にて使用できる力を身につける。	2前期	15	1	△	○		○				○

商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
37	○		ホテル英会話Ⅳ	ホテル業務で使用される日常会話、専門用語を会話にて使用できる力を身につける。	2後期	15	1	○			○	○			
38	○		卒業研究Ⅰ	業界が抱える課題を見つけ、解決方法を提案できる力を身につける。	2前期	30	2	○			○	○		○	
39	○		卒業研究Ⅱ	業界が抱える課題を見つけ、解決方法をITと関連させて提案できる力を身につける。	2後期	60	4	○			○	○		○	
40	○		プレゼンテーション演習	聞き手の心を動かすプレゼンテーション力を身につける。プレゼン資料としてpower pointを効果的に使うことができるようになる。	2前期	30	2	○	△		○	○			
41	○		情報リテラシーⅢ	EXCEL表計算処理技能認定試験3級を目指す知識・技能の習得、またプロデュースや卒業研究などパソコンを使用した作品作りに応用できるようになる。	2前期	32	2	○	△		○	○			
42		○	企業実習	ホテル・ブライダルの施設等で、現場において留意点や技術向上のための知識・技術を学ぶ	2後期	120	4			○	○	○		○	
43	○		ペン字上級	1年生で学んだ美しい文字を書くことの大切さをより深く理解する。ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形(行書体も含む)を学ぶ。また、筆ペンの使用も学ぶ。	2後期	15	1	△	○		○			○	
44	○		ビジネス英語	ビジネスの場で簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付ける。	2後期	15	1	○	△		○			○	
45	○		エクセル上級	Excel2019 (Expertレベル) を活用し、実務で使える資料作成能力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○	○			
46	○		医療事務	医療保険の仕組みを理解し、簡単な医療費の計算を学ぶ。	2後期	15	1	△	○		○	○			
47	○		表現	幼児期から親しんできた言語環境構成の基礎や作品製作技術を学んだり、体験したりすることを通して、自己表現やコミュニケーション力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○	○			
48	○		RPA実習	業務において、ミスをなくし効率的な業務が出来るように、作業自動化ツールを用いた自動化の初歩を学び、プログラムの思考力を養う。	2後期	15	1	△	○		○	○			

商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○		情報リテラシー	業務で役立つWindowsの便利な機能や、社会に出てから必要となるセキュリティ知識やAIの活用方法などについて学ぶ。	2後期	15	1	△	○		○	○			
		○		データマーケティング	データを根拠に考え、新しいアイデアを考案するための方策を学ぶ。Excelを活用した分析手法についても修得する。	2後期	15	1	△	○		○	○			
		○		ファイナンスシミュレーション	身近なお金の知識やこれから必要になるお金の知識を学ぶ。投資など資産運用について基本的な知識を身につける。	2後期	15	1	○	△		○	○			
		○		法律リテラシー	実社会で役立つ、民法・行政法等の知識を事例を交えて学ぶ。身近で起こりうる法律問題について結論の方向性が見通せるようになることを目指す。	2後期	15	1	○	△		○	○			
		○		フラワーアレンジメント	ブーケ、ブートニア、ヘッドフラワー、会場装花を製作する。	2後期	15	1	△	○		○			○	
		○		ゲームプログラミング	ゲーム制作を通じてプログラミングを体験することで、順序立てて物事をとらえる考え方を身につける。	2後期	15	1	△	○		○	○			
		○		広告映像	会社の広報SNSなどに必要な写真の撮影、および動画制作を通して、情報や魅力をわかりやすく伝える力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○	○			
		○		ビジュアルデザイン	デザインを使い、伝えたい情報を視覚的に表現する力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○	○			
		○		世界事情	グローバル化の時代、将来国内外問わず、外国人とともに仕事をすることを念頭に、テーマ別国際事情の講義とグループワークやディスカッションを通して、国際的視野を身につける。	2後期	15	1	△	○		○	○			
合計						42	科目	1707 単位 (単位時間)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：①必修科目及び選択必修選択科目の成績がC評価以上	1学年の学期区分	2期
履修方法：【No. 1-22】1年次履修科目 41単位(868単位時間) 22科目	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。